

就任二期目のご挨拶



公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
会長 津田 聡一郎

過日6月3日の当会定時会員総会におきましては、昨年度の事業・会計・その他についてご報告し、会員の皆様の承認をいただきました。誠にありがとうございました。社団法人から公益社団法人に移行して二年一期目を無事に終えることができ、安堵すると共に、ご協力をいただいた皆様に心から御礼申し上げます。

今総会では平成28、29年度の理事の選任があり、22名が選出されました。その後、直ちに行われた理事会で私・津田聡一郎が代表理事(会長)に決まり、引き続いて当会を率いることとなりました。どうぞ、よろしく願いいたします。

社団法人から公益法人への移行期には22名の理事で対応していましたが、平成26、27年度の理事は20名としました。しかし、ここ数年、当会の会員数増加が著しく、これに呼応させるものとして、今期から22名体制で行くこととしました。

具体的には、野瀬和彦氏(深谷赤十字病院)が業務・職場の都合で退任し、新たに阿部健一郎氏(深谷赤十字病院)、石井直美氏(越谷市立病院)、濱田昇一氏(メディカルトピア草加病院)の三氏が新たに就任し、それ以外の理事は重任(再任)しました。

ところで、私は今度の任期途中で職場の定年を迎えます。そのようなこともあって、公益移行後の混乱するかもしれない一期二年だけを無事に治めることだけを考えてまいりました。これが達成された今後は、少し引いた立ち位置で技師会・理事会に対して、「異論、反論」を吹き掛けようと目論んでおります。これは、「混乱」を目的とするものではなく、いろいろな可能性や新たな方向性を生み出すキッカケとなることを願っての考えです。

これからの数年～10年で検査業界も、医療の世界も大きく変わろうとしています。「その時」は突然来るのではなく、予兆や兆候を伴います。これを察知して、これに対応できる「検査技師」であって欲しい、「検査技師会」になって欲しい、と願いながら会務に臨みたいと思っております。

これからもどうかご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。